

むし歯の進行

子どもの歯の特徴は乳歯から永久歯に歯がはえかわることです。乳歯のときにむし歯が多いと、むし歯菌が増えている状態の中に永久歯がはえてくるので、永久歯もまたむし歯になりやすくなります。乳歯は永久歯よりも弱いので、いったんむし歯が発生すると、あっという間に進んでしまうのです。

C0 むし歯の始まり 観察が必要

表面が浅く溶け初期の状態。表面が白く濁ったり、溝が茶色になったりしますが、見ためにはほとんどわからない。削らずに再石灰化を促して、観察をする。

C1 痛みを伴う 自覚症状なし

歯の表面に白い斑点となって現れ、だんだん黒ずんでくる。奥歯では溝に沿って白いスジ状になることがある。

C2 冷たい水や風が 歯にしみる

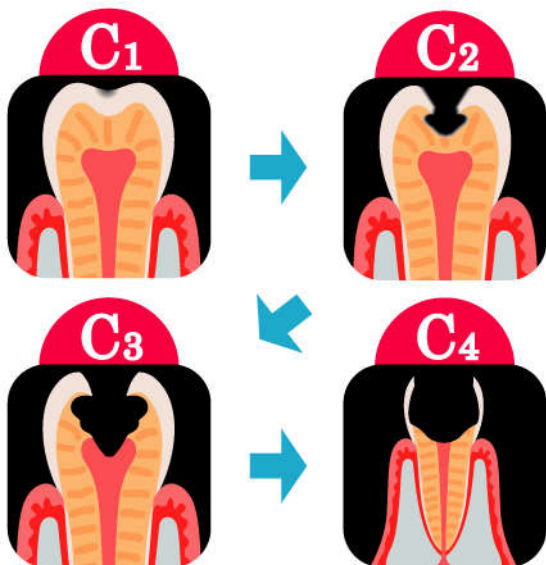
むし歯は、エナメル質と象牙質との境にそって、横に広がるのが多く、広い範囲を削らなければならないことがある。

C3 熱いものもしみ ズキズキ！

歯髄を取ると歯はもろくなる。しかし歯髄はデリケートで、炎症をおこすと治りにくく腐りやすいので、取らざるをえない場合が多い。

C4 歯の根だけ残る 末期症状

以前治療した歯から重症化することが多い。歯の根までむし歯になるか、化膿しているか抜歯。



むし歯は気づかぬうちに進行しているため、痛くなってからでは手遅れです。定期的に歯科検診を受け、初期の段階で虫歯を見つけましょう。

子どものおやつ

「むし歯になるからおやつはダメ！」ではありません。おやつの内容を考え、**まった時間**に与えることが必要なのです。

むし歯になりにくい食物

- ・くだもの(りんご・イチゴ)
- ・野菜ステック(セロリ、にんじん)
- ・クラッカー
- ・ミルクゼリー
- ・ふかし芋・干し芋
- ・キシリトールガム

